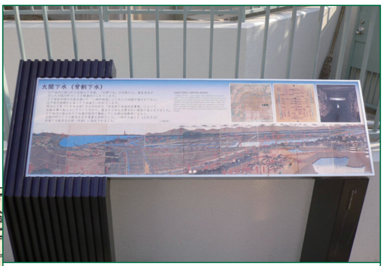
下水道普及啓発活動部門

大阪市指定文化財となった太閤（背割）下水

大阪府大阪市

見学用地上施設

見学用地上施設



見学施設説明看板

地上施設と地下施設

案内標識

見学用地下施設

太閤（背割）下水内部

大阪市の太閤(背割)下水は、豊臣時代の大坂城築城時のまちづくりの中で原型が造られた下水溝といわれており、後の改良を経て、総延長約20kmが現在も現役の下水道施設として使用されています。平成17年には、現存している太閤下水のうち約7kmが大阪市文化財に史跡として指定されました。平成18年には、より市民の皆様に開かれた施設として地上から自由に見学ができるように見学施設のリニューアルを行い、多くの見学者が訪れています。この太閤下水は、貴重な財産として下水道の歴史や重要性を市民にアピールしています。